

# 堺のオダサク

織田作之助

さかい利晶の杜 企画展

文豪ストレイドッグス×与謝野晶子記念館コラボキャンペーン第3弾・与謝野晶子生誕140年記念事業



昭和15(1940)年頃  
大阪を歩く織田作之助  
提供 織田禎子氏

「夫婦善哉」が生まれたまち・堺

「一人より女めおと夫おとの方が良えいうことぞうしやろ」

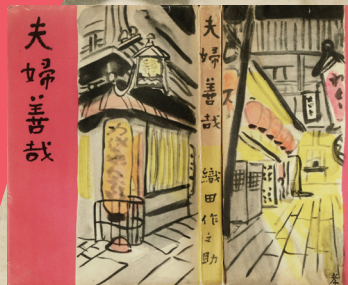
休館日3月20日(火)

会期

平成30年

2月24日(土)

～4月15日(日)



「夫婦善哉」創元社 昭和15(1940)年  
提供 オダサク倶楽部 副代表 高橋俊郎氏

## 観覧料 割引特典

下記スタンプ&フォトラリーの  
ラリーシートご提示で  
観覧料20%OFF  
※ラリーシート1枚につき  
1名様適用

同時開催!

## 「文豪ストレイドッグス」と「与謝野晶子記念館」のコラボ企画再登場!

文豪ストレイドッグス×与謝野晶子記念館コラボキャンペーン 第3弾

### スタンプ&フォトラリー in 堺

詳しくは、さかい利晶の杜ホームページをご覧ください。

#### 文豪ストレイドッグス とは…

中島敦、太宰治、織田作之助、与謝野晶子といった文豪をモチーフにしたキャラクターたちが異能を用いて活躍するアクションバトル作品。2018年3月3日より完全新作の映画「文豪ストレイドッグス DEAD APPLE」が公開する。

「文スト」には  
織田作之助も  
登場!





# ごあらさつ

織田作之助には故郷が5つある。生れ育った大阪上沙町、学び遊んだ京都、流行作家になった富田林、放浪し咯血死した東京、そして小説家として立った野田村丈六（現在の堺市東区北野田）。『夫婦善哉』や『木の都』などの代表作は、すべて北野田の愛妻一枝と住んだ長屋の二階から紡ぎ出されました。ドストエフスキーに心酔して『カラマゾフの兄弟』を読みふけり、スタンダールの『赤と黒』から小説家を志し、永井荷風の『濃東綺譚』によって想を得た作之助は、堺の家で独自の小説世界を開花させました。ここに、さかい利晶の杜で「織田作之助展」を開催する大きな意義があります。

咯血して三十四歳の命を閉じることになったのは悲劇ではありませんが、最期に太宰治や坂口安吾とのひと時を持てたのは、幸運だったとも言えます。

ここ堺の地で、その短い生涯に触れ、織田作之助の真実の姿をご覧ください。

オダサク倶楽部副代表

高橋俊郎



昭和15(1940)年 新聞記者時代の織田作之助  
提供 織田禎子氏



昭和14(1939)年7月15日 織田作之助と一枝の結婚式 阿倍野筋 料亭千とせ 松の間  
提供 織田禎子氏



昭和10(1935)年秋 左から織田作之助 白崎禮三 瀬川健一郎 提供 織田禎子氏

## さかい利晶の杜 企画展

文豪ストレイドッグス × 与謝野晶子記念館  
コラボキャンペーン 第3弾・  
与謝野晶子生誕140年記念事業

# 堺のオダサク

—「夫婦善哉」が生まれたまち・堺—

織田作之助は、都会ではなく郊外の野田村丈六（現在の堺市東区北野田）で小説家として自立しました。本企画展では、その野田村での新婚生活を垣間見ることができる「妻一枝の家計簿」や、小説の構想などを記した「創作ノート」、妻一枝への熱い思いが綴られた「オダサクの日記」などを紹介。また、芥川賞候補となり注目を受けた「俗臭」や、実質的なデビュー作である「夫婦善哉」などの貴重な草稿も展示。その筆力、筆致をご覧ください。さらに、「トンビコート」などの愛用品も展示。飒爽とまちを闊歩する「堺のオダサク」をご想像して頂ける構成となっています。

## 特別イベント

# 「堺のオダサクを感じる」講演会＋朗読会

参加無料

●日時 平成30年3月3日(土)14時～15時30分 ●会場 さかい利晶の杜 茶室広間 ●定員50名 ※靴下をご準備ください。茶室にはイスの準備はございませんのでご了承ください。

### 第1部 14時～14時30分

朗読会 「高野線」  
最愛の妻一枝が逝去した直後の昭和19年9月「新文学」に発表した作品  
はる  
朗読 玻璃あつこ氏

### 第2部 14時30分～15時30分

講演会 「堺に住み・愛し・書いた～織田作と一枝のリアル夫婦善哉」  
出演 オダサク倶楽部代表 いむらみつね  
井村身恒氏  
1952年生。早稲田大学卒業、大阪府立高校教諭を経て、現在、オダサク倶楽部代表、オダサク映画実行委員長として第五回「なにわ大賞」準大賞受賞。共著に、「永久保存版 織田作之助」「堺市今昔写真帖」「フォーラム堺学」第六集など



●申込方法 お名前、住所、年齢、TEL/FAXをご記入の上、電話・FAXもしくはさかい利晶の杜のHPにてお申込み下さい。

電話：072-260-4386 FAX：072-260-4725 <http://sakai-rishonomori.com>

※申込は先着順となります。会場定員に達した場合、ご希望に添えない場合もあります。

※申込のために必要な範囲内の個人情報の提供について同意の上、お申込みください。個人情報は厳重に管理し、申込みの手配とお客様との連絡及び、これらに付随する業務を行うために利用します。個人情報の取扱いに関しましては、当館HP (<http://sakai-rishonomori.com/privacy/>)をご参照下さい。個人情報の取扱いに関する問合せ:072-260-4386

ふりがな	〒		
お名前	住所		
	年齢	歳	TEL
			FAX